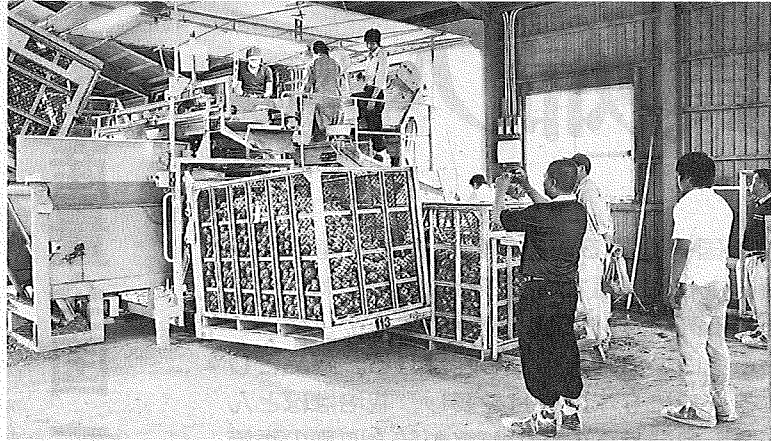


タマネギのタッピング作業を視察する台湾の視察団

(北海道新聞、平成 24 年 9 月 5 日、北見版)

第 3 種郵便物認可

オニオンタッパーを見て質問したり、熱心に写真を撮ったりする台湾人見学者ら



タマネギ農機に関心

台湾のツアー―北見、訓子府を訪問

道内の農業機械を台湾に売り込もうと企画されたセミナーの一行が 4 日、北見と訓子府を訪れ、農業機械を視察した。一行は実際に使われているタマネギ収穫用の機械を近くで見たり、熱心に写真を撮るなどして興味を示していた。

(宮口江梨子)

機械売り込みに期待も

貿易研修センター 長尾正典さん方で、タマネギ選別の様子を真剣（東京）などの主催。マネギ収穫用の農業機械に見つめていた。この日はまず、北見市 械、オニオンタッパー 続いて、オニオンタ留辺薬町温根湯の農家を視察。一行は、タマ

府機械工業を訪れ、同社が開発した農業機械の DVD を見た。一行は「台湾のタマネギは大きく、1 キくらいのものである。この機械で収穫できるか」「収穫するとき、タマネギと一緒に土も入るか」などと質問した。同社の松田和之社長は「台湾は手作業で植

え付けや収穫などを行っているところが多い。このツアーをきっかけに機械購入の話がまとまってくれば」と期待を寄せる。一行に同行する北海道経済産業局の小貴秀治・製造産業課長は「台湾は高齢化や後継者不足などによる人手不足で農業の機械化は喫緊の課題。北海道の農業機械はきめ細かい作業もできるので評価が高い」と話した。

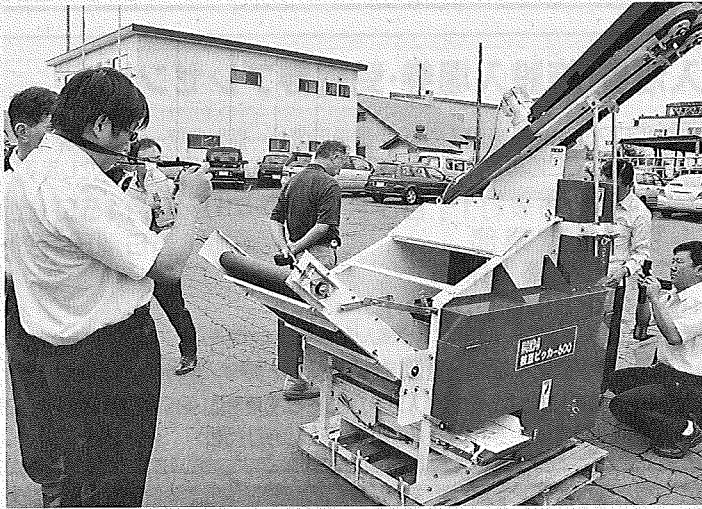
5 日は北見のきたみらい農協青果物選果場などを視察する予定。

道産農業機械に注目

台湾視察団メーカー訪問

岩見沢

本田農機工業の枝豆収穫機を熱心に視察する台湾の農業関係者ら



【岩見沢】台湾の農業関係者ら12人が6日、岩見沢市内の農業機械製造メーカーを訪れ、枝豆収穫機械などを視察した。道内の農業機械を台湾に売り込もうと、経済産業省の外郭団体、貿易研修センター（東京）などが視察ツアーを企画した。一行は農機具商社の責任者、大学教授などの専門家で、3日に札幌で開かれたセミナーに参加、4～5日はオホーツク管内訓子府町と北見市でタマネギの収穫作業を見てきた。

6日は岩見沢市栗沢町の本田農機工業を視察。同社の本田雅義社長が会社概要について説明し、同社が開発した枝豆収穫機について「ゴムでそぎ取るため、豆に傷が付きにくい」とも使えるか」などと質問し、熱心に機械の写真を撮っていた。台湾でもすでに枝豆収穫機械は導入されているというが、北海道経済産業局の小貫秀治

・製造産業課長は「豆に傷をつけずに収穫できる日本製品の技術に、注目が集まっている」と話していた。

（鹿内朗代）